

平成27年度 第46回 全九州高等学校バスケットボール春期選手権大会

女子1回戦

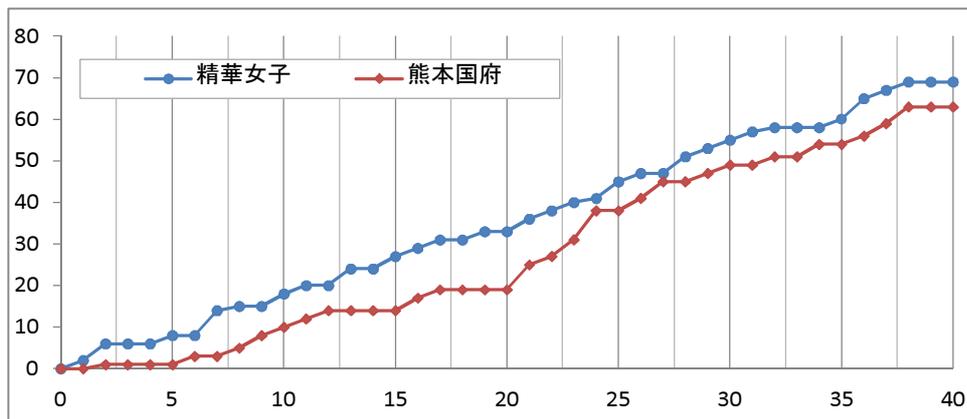
主審 國吉 由華
副審 久保 光

精華女子 69 (福岡2位) ○

63 熊本国府 ● (熊本1位)

18 - 10
15 - 9
22 - 30
14 - 14
-

No. 13D2 日時: 2016年2月13日(土) 10:30 会場: 薩摩川内市運動公園体育館D2



精華女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 屋宜 百合香 (C)	20	3	4	3	3
5	牛島 優佳	-	-	-	-	-
6	* 中村 有希	35	2	12	5	4
7	* 増田 和	6	0	3	0	3
8	山近 知弥	0	0	0	0	0
9	* 梶原 志保	0	0	0	0	1
10	織田 萌々香	-	-	-	-	-
11	石丸 雪乃	-	-	-	-	-
12	川口 ゆい	-	-	-	-	-
13	森 奈都希	-	-	-	-	-
14	* 清水 利祐子	8	0	3	2	4
15	大城 権菜	0	0	0	0	2
16	宮崎 彩蘭	-	-	-	-	-
17	山口 美姫	-	-	-	-	-
18	内藤 遙	-	-	-	-	-
コーチ	大上 晴司					
合計		69	5	22	10	17

熊本国府

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	大内 梨菜	-	-	-	-	-
5	内山 えみり	0	0	0	0	0
6	高島 里和	-	-	-	-	-
7	田中 花梨	0	0	0	0	1
8	野崎 茉莉	-	-	-	-	-
9	阿武 未帆	-	-	-	-	-
10	* 松本 美月 (C)	11	1	4	0	3
11	* 井上 祐菜	3	1	0	0	0
12	安庭 希海	0	0	0	0	0
13	* 川端 日菜子	18	0	7	4	4
14	* 橋口 樹	21	0	9	3	2
15	* 久保下 真帆	10	0	5	0	2
16	鷹木 彩	-	-	-	-	-
17	小峰 祐奈	0	0	0	0	0
18	木下 綾子	-	-	-	-	-
コーチ	平井 浩一					
合計		63	2	25	7	12

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

福岡県2位の精華女子と熊本県1位の熊本国府の試合。粘り強いディフェンスから走り得点する精華女子と、下級生主体のチームではあるが大型で絶対的なリバウンド力を誇る熊本国府のナイスゲームだった。

第1Q精華ボールからスタート。序盤は両チームともマンツーマンで守るが、精華は徹底して国府のインサイドを警戒する。お互い硬い動きで上手くない中、リズムを掴んだのは精華。#7増田、#4屋宜、#6中村などがジャンプシュートを決め、主導権を握る。国府はインサイドで攻めようとするが精華の激しい寄りの速いポストディフェンスに攻められず1回目のタイムアウト。その後#13川端、#14橋口などで得点を重ねるも差が詰まらず18-10精華リードで終了。第2Qも精華は変形の3-2ゾーンで国府のインサイドを阻止する。お互い入れたい入れ返す展開の中、精華は国府の#14橋口にダブルチーム仕掛け仕事をさせない。オフェンスでは精華#6の個人技やアラウンドプレイで巧みにオフェンスする。対して国府は#13川端のジャンプシュート、#14橋口のステップインで応戦するが33-19精華女子リードで前半終了。第3Q国府は#15久保下への裏バスやリバウンドシュートでリズムを掴む。対して精華はインサイドを守るがアウトサイドを打たれリバウンド力の強い国府ペースになる。徐々に点差が詰まり、精華はタイムアウトをとるが、流れは変わらない。55-49の精華6点リード終了。第4Q追いつきたい国府は#15久保下、#14橋口のハイローで得点する。しかし、豊富な運動量と厳しいディフェンスが持ち前の精華は#7増田のスティールから#6中村の速攻やドライブで点差を詰めさせない。その後6点差前後の攻防が続き、ファウルゲームを狙う国府だが、冷静な精華#4屋宜がボールコントロールをし、69-63で精華が勝利した。

記者 阿多 昌文 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会